

The CarbonNeutral Company

Media Information and Fact File

概要

カーボンニュートラル社（以下「CN社」という。）は、企業および個人の地球温暖化対策に向けた活動を先導しています。CN社は機関投資家や創業者、個人出資者、経営陣、そして社員を株主とする会社（営利企業）です。

CN社は、1990年代半ばにカーボンオフセットの販売を開始して以来、お客様に対し幅広い意味でのカーボンオフセットや温暖化対策のコンサルティング等のサービスを提供し、お客様のCO2排出量の算定、CO2削減そしてオフセットを手助けして参りました。

CO2が、削減やオフセットにより最終的にゼロとなった場合には、対象となる企業や製品、サービスはCN社の登録商標であるCarbonNeutral[®]ブランドを付けることができます。

ロンドン本社や海外ネットワークを通じ、我々は世界中で200を超える企業や500,000人を超える個人の方々をお客様として持っています。

CN社の歴史と経緯

CN社は、Sue WellandとDan Morrellにより1997年に設立されました。当時、CN社はFuture Forest社という社名で、地球温暖化に対する社会的関心も薄い時代でした。Future Forest社は、エジンバラの研究者グループ（現在のEdinburgh Center for Carbon Management）の協力の下、植林グループと協同してカーボンオフセット（植林により生み出された排出権でCO2をオフセット）を世界で初めて販売しました。

現在の我々の顧客の多くは、技術ベースのプロジェクトによって生み出された排出権によりカーボンオフセットする事を選択しています。2007年末には、カーボンオフセットの内訳として、植林ベースのものが10%、技術ベースのものが90%になると予測しています。

CN 社による世界初

- カーボンオフセットを商品化し、企業向けと個人向けに販売しました。
- Web ベースでのオンライン CO2 計算機を開発しました。
- カーボンニュートラルな国際イベント (the Meeting on Sustainable Development in New York) を開催しました (カーボンオフセットを担当)。
- カーボンニュートラルなロックツアー (Rolling Stones US Tour 2002) を開催しました (カーボンオフセットを担当)。
- カーボンオフセット品質基準 (カーボンニュートラルプロトコル) を作成しました。
- CO2 排出量の少ない温暖化対策商品を取り扱ったオンラインショップをスタートしました。
- Colin Challen (英国労働党議員) と協力し、温暖化対策のための各党横断的なグループを組成しました。現在は、同様なグループの中で最大です。

CN 社のオフセットプロジェクト

カーボンオフセットは、企業や個人が CO2 排出量をコントロールする上で、大きな役割を果たしています。

地球温暖化を安定的に抑制するためには、2007 年から 2013 年の間に 390 億トンの CO2 を削減する必要があります。企業や個人がエネルギー効率の向上や省エネ技術の活用により自身で削減できる量は 160 億トンです。排出権取引 (カーボンオフセット) により 230 億トンを工面する必要があり、その内企業や個人が自発的にオフセットする量は 30 億トンです。

世界中の削減プロジェクトに投資してオフセットすることにより付加的な価値が実現されます。例えば、CN 社がインドで携わっている太陽光発電プロジェクトにおいては、灯油バーナー (CO2 を多量に排出し、又健康に悪い) をソーラーパネル (CO2 の排出が小、健康被害が小、地元雇用を創出) に置き換えています。

CN 社は、様々なタイプのプロジェクトを通じて CO2 をオフセットしています。例えば、

- 再生可能エネルギー：風力、水力、太陽光といった再生可能なエネルギーの利用
- 省エネルギー：CO2 排出量の多い機器やプロセスを排出量の少ないものに置換
- メタン回収：メタンは CO2 の 12 倍の温暖化効果があります。プロジェクトではメタンを回収して分解します。
- 植林：木の生長にともない CO2 を吸収し、代わりに酸素を排出します。

2006 年 6 月から 2007 年 7 月において、CN 社は 25 から 35 のプロジェクトからおよそ 100 万トンの CO2 を調達する契約を締結する予定です。過去 10 年間に於いて、CN 社は 6 つの大陸において合計 100 を超えるプロジェクトから排出権を購入しました。

プロジェクトの中身は、お客様のニーズに応じて日々変わります。TBS の例ではゴールドスタンダードに適合したプロジェクトから排出権を調達しました。ある航空会社は VCU に興味があります。又他の航空会社は CER を求めています。BskyB では、90%が VER で 10%が CER であり、それらを複数のプロジェクトから調達しました。

ほとんどの消費者向けオフセットでは VER を使いますが、CER プロジェクトをひとつ組み合わせています。

プロジェクトの例

- インドにおける、環境負荷が高く健康に悪い灯油バーナーを Selco 太陽光システム（賞を受賞したソーラーパネルシステム）に置き換えるプロジェクト。
- ニュージーランドにおける風力発電プロジェクト（ゴールドスタンダード）
- ジャマイカにおける、ホテル等の旅行業界を対象とした省電力タイプの小型蛍光灯の販促プロジェクト。
- メキシコの 2 つの最貧地域において実施されている、農業と植林を組み合わせたプロジェクト（Scole Te）

品質基準

CN 社にとって品質基準は最重要です。CN 社の品質保証プログラムは業界で最も進んだものです。

- the CarbonNeutral[®] Protocol：CN 社はこの公開され且つ独自に査定された品質基準に基づいて仕事をしています。
- この品質基準は、排出量の査定、削減目標の設定、可能なオフセット策の提案、排出権の登録、プロジェクトの評価証明と公開といった温暖化対策プログラムの重要な事項をカバーしています。
- CN 社では、CN 社の運営システムや排出権管理システム（二重計上等の有無のチェック）について、年に一度 KPMG の監査を受けます。
- CN 社では、登録簿に従い排出権の購入や管理状況を公開しています。
- CN 社では、お客様が CN 社から購入した排出権を保証します。もし不足が発生した場合は CN 社が補填します。

the CarbonNeutral[®] Protocol(品質基準)

この品質基準は CN 社のブランドの基礎になるもので、世界的なベストプラクティスと産業界や NGO、科学者や学者といった技術アドバイザーグループからの意見を取り込んで作られています。

監査

品質基準に加え、CN 社は年に一度、カーボンオフセットプロジェクトと顧客との契約との整合性の確認を、独立した第三者機関に委託しています。

このことにより、排出権の重複販売や償却漏れが未然に防止されます。

顧客事例紹介

- Sky TV : Sky 社は、CO₂ の削減とオフセットを組み合わせることにより、CarbonNeutral[®] 認定を 2006 年に取得しました。CN 社は、継続して Sky 社の協力業者や顧客を巻き込むための戦略的、広報的プログラムの推進を行っています。
- Simmons and Simmons : 世界最初の国際的 CarbonNeutral 法律事務所。
- Radio Taxi : CN 社は RTG 社の CSR プログラムを地球温暖化対策に関係付けることに協力しました。結果として、RTG 社は 2005 年に最初の CarbonNeutral タクシー会社として認定されました。
- Avis : CN 社は、レンタカーの顧客がオンラインでレンタカーの運転によって排出される CO₂ をオフセットできるオプション契約の仕組みを作りました。それから 5 年間で、Avis は 61,654 トンの CO₂ を技術ベース及び植林ベースのプロジェクトを通じてオフセットしました。
- Berkeley Homes : BH 社は、グリーンエネルギーの購入とオフセットにより、West 3 プロジェクトの建設工事において CO₂ の排出量を 18%削減しました。全ての新築住宅はグリーン電力購入の契約を締結しました。当時、この契約は、全 UK 家庭のグリーン電力購入量の 1% に相当しました。

地球温暖化に関するデータ

- 地球温暖化は、今日我々が直面している環境課題の中で最も緊急の課題です。
- 今後 30 年から 50 年の間で温室効果ガスを 60%削減する必要がありますが、この点について科学的および政治的合意が形成されようとしています。
- 1990 年から 2100 年の期間で、地球の平均表面温度が 1.4 度から 5.8 度程度上昇すると予測されています。
- Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC)によれば、2100 年までに海面が 9cm から 88cm

程度上昇し、低地の地域や島々で大規模な洪水が起こると予測されています。海面が 1m 上昇すれば、バングラディッシュでは 70 百万人の人々が移住を余儀なくされます。

- 1960 年代以降地球上の積雪が 10%減少しました。
- 海面上昇によって、2100 年にはテムズ川の水門を年間 325 回開閉する必要があります。1995 年から 1999 年にかけて開閉はわずか 12 回でした。
- 事務所のエアコンによって余分に排出される CO2 は、A4 用紙 900 百万枚に相当します。
- ロンドンの道路を走る車から年間 2,320,000 トンの CO2 が排出されます。これは、ジャンボジェットが地球と月との間を 71 回往復する CO2 に相当します。
- 英国人は、TV や他の電気製品をスタンバイモードにしておく(電源を切らない)ことで、毎年発電所 2 基分の電力を無駄にしています。
- 調査によれば、FTSE100 に登録された企業の 80%は、地球温暖化を企業や政府にとってテロや発展途上国との競争に勝る課題であるとして認識しています。